Ⅲ　学部・学科等の履修単位表（2025（令和７）年度入学者用）

１．人文学部

（１）文化学科

<table>
<tr><th>科目</th><th>授業科目名（単位数）または 分野名</th><th>単位数小計</th><th>単位数合計</th></tr>
<tr><td rowspan="5">大学基礎科目</td><td>スタートアップセミナー（２）</td><td rowspan="5">１３</td><td rowspan="12">４４</td></tr>
<tr><td>キャリア教育入門（２）</td></tr>
<tr><td>英語Ⅰ大学基礎（２）
英語Ⅰコミュニケーション（２）</td></tr>
<tr><td>データサイエンスⅠ（２）
データサイエンスⅡ（２）</td></tr>
<tr><td>スポーツ健康科学Ａ（１）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">教養基礎科目（副専攻科目）注1</td><td>歴史・文化分野</td><td rowspan="6">１３
スポーツ健康科学Ｂ（１）
および科学的地域環境概論
Ⅰ（１）を含めること</td></tr>
<tr><td>環境・科学分野</td></tr>
<tr><td>健康・医療・福祉分野</td></tr>
<tr><td>教育・公共分野</td></tr>
<tr><td>社会・経済分野</td></tr>
<tr><td>国際・外国語分野</td></tr>
<tr><td rowspan="3">専攻基礎科目</td><td>未習外国語（８）注2</td><td rowspan="3">１８</td></tr>
<tr><td>英語ⅠTOEIC(２)［教養基礎科目から選択］</td></tr>
<tr><td>選択科目（８）［教養基礎科目から任意の科目を選択］</td></tr>
</table>

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。
専攻基礎科目として修得した教養基礎科目の単位は、副専攻の単位に含めることはできない。

注２　未習外国語の履修について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　３．（６）（ⅱ）未習外国語（英語以外の外国語）」を熟読すること。

（２）法律経済学科

<table>
<tr><th>科目</th><th>授業科目名（単位数）または 分野名</th><th>単位数小計</th><th>単位数合計</th></tr>
<tr><td rowspan="5">大学基礎科目</td><td>スタートアップセミナー（２）</td><td rowspan="5">１３</td><td rowspan="12">３６</td></tr>
<tr><td>キャリア教育入門（２）</td></tr>
<tr><td>英語Ⅰ大学基礎（２）
英語Ⅰコミュニケーション（２）</td></tr>
<tr><td>データサイエンスⅠ（２）
データサイエンスⅡ（２）</td></tr>
<tr><td>スポーツ健康科学Ａ（１）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">教養基礎科目（副専攻科目）注1</td><td>歴史・文化分野</td><td rowspan="6">１３
科学的地域環境概論Ⅰ
（１）を含めること</td></tr>
<tr><td>環境・科学分野</td></tr>
<tr><td>健康・医療・福祉分野</td></tr>
<tr><td>教育・公共分野</td></tr>
<tr><td>社会・経済分野</td></tr>
<tr><td>国際・外国語分野</td></tr>
<tr><td rowspan="4">専攻基礎科目</td><td>未習外国語（４）注2</td><td rowspan="4">１０</td></tr>
<tr><td>英語ⅠTOEIC(２)［教養基礎科目から選択］</td></tr>
<tr><td>経済学Ａ～Ｇ（２）［教養基礎科目から選択］</td></tr>
<tr><td>法学Ａ～Ｇ（２）
政治学Ａ～Ｇ（２）
｝（２）［教養基礎科目から選択］</td></tr>
</table>

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。
専攻基礎科目として修得した教養基礎科目の単位は、副専攻の単位に含めることはできない。

注２　未習外国語の履修について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　３．（６）（ⅱ）未習外国語（英語以外の外国語）」を熟読すること。

２．教育学部

（１）国語教育コース，社会科教育コース，美術教育コース，保健体育コース，家政教育コース，特別支援教育コース，幼児教育コース，学校教育コース（教育学専攻）

科目	授業科目名（単位数）または 分野名	単位数小計	単位数合計
大学基礎科目	スタートアップセミナー（２）	１３	３４
	キャリア教育入門（２）		
	英語Ⅰ大学基礎（２） 英語Ⅰコミュニケーション（２）		
	データサイエンスⅠ（２） データサイエンスⅡ（２）		
	スポーツ健康科学Ａ（１）		
教養基礎科目（副専攻科目）注1	歴史・文化分野	１３注2	
	環境・科学分野		
	健康・医療・福祉分野		
	教育・公共分野		
	社会・経済分野		
	国際・外国語分野		
専攻基礎科目	教育学部向けに開講される専攻基礎科目（未習外国語を除く）または教養基礎科目（専攻基礎科目として取扱う）の中から８単位を任意に選択して履修すること	８	

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。
専攻基礎科目として修得した教養基礎科目の単位は、副専攻の単位に含めることはできない。

注２　１３単位の中にスポーツ健康科学Ｂ（１）、スポーツ健康科学概論（２）、日本国憲法（２）、科学的地域環境概論Ⅰ（1）を含めること。

（２）数学教育コース

<table>
<tr><th>科目</th><th>授業科目名（単位数）または 分野名</th><th>単位数小計</th><th>単位数合計</th></tr>
<tr><td rowspan="5">大学基礎科目</td><td>スタートアップセミナー（２）</td><td rowspan="5">１３</td><td rowspan="12">３４</td></tr>
<tr><td>キャリア教育入門（２）</td></tr>
<tr><td>英語Ⅰ大学基礎（２）
英語Ⅰコミュニケーション（２）</td></tr>
<tr><td>データサイエンスⅠ（２）
データサイエンスⅡ（２）</td></tr>
<tr><td>スポーツ健康科学Ａ（１）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">教養基礎科目（副専攻科目）注1</td><td>歴史・文化分野</td><td rowspan="6">１３注2</td></tr>
<tr><td>環境・科学分野</td></tr>
<tr><td>健康・医療・福祉分野</td></tr>
<tr><td>教育・公共分野</td></tr>
<tr><td>社会・経済分野</td></tr>
<tr><td>国際・外国語分野</td></tr>
<tr><td>専攻基礎科目</td><td>基礎線形代数学Ⅰ（２）
基礎線形代数学Ⅱ（２）
基礎微分積分学Ⅰ（２）
基礎微分積分学Ⅱ（２）</td><td>８</td></tr>
</table>

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。

注２　１３単位の中にスポーツ健康科学Ｂ（１）、スポーツ健康科学概論（２）、日本国憲法（２）、科学的地域環境概論Ⅰ（１）を含めること。

（３）理科教育コース，技術・ものづくり教育コース

<table>
<tr><th>科目</th><th>授業科目名（単位数）または 分野名</th><th>単位数小計</th><th>単位数合計</th></tr>
<tr><td rowspan="5">大学基礎科目</td><td>スタートアップセミナー（２）</td><td rowspan="5">１３</td><td rowspan="12">３４</td></tr>
<tr><td>キャリア教育入門（２）</td></tr>
<tr><td>英語Ⅰ大学基礎（２）
英語Ⅰコミュニケーション（２）</td></tr>
<tr><td>データサイエンスⅠ（２）
データサイエンスⅡ（２）</td></tr>
<tr><td>スポーツ健康科学Ａ（１）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">教養基礎科目（副専攻科目）注1</td><td>歴史・文化分野</td><td rowspan="6">１３注2</td></tr>
<tr><td>環境・科学分野</td></tr>
<tr><td>健康・医療・福祉分野</td></tr>
<tr><td>教育・公共分野</td></tr>
<tr><td>社会・経済分野</td></tr>
<tr><td>国際・外国語分野</td></tr>
<tr><td>専攻基礎科目</td><td>コースが指定する専攻基礎科目の授業を履修すること。その他の科目は教育学部向けに開講される専攻基礎科目（未習外国語を除く）または教養基礎科目（専攻基礎科目として取扱う）の中から任意に選択して履修すること</td><td>８</td></tr>
</table>

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。
専攻基礎科目として修得した教養基礎科目の単位は、副専攻の単位に含めることはできない。

注２　１３単位の中にスポーツ健康科学Ｂ（１）、スポーツ健康科学概論（２）、日本国憲法（２）、科学的地域環境概論Ⅰ（１）を含めること。

コースが指定する専攻基礎科目の授業

コース	指定する授業科目	単位数計
理科教育コース	基礎生物学Ａ（２），基礎地学Ａ（２）	4
技術・ものづくり教育コース	基礎生物学Ａ（２）	2

（４）音楽教育コース，学校教育コース（教育心理学専攻）

<table>
<tr><th>科目</th><th>授業科目名（単位数）または 分野名</th><th>単位数小計</th><th>単位数合計</th></tr>
<tr><td rowspan="5">大学基礎科目</td><td>スタートアップセミナー（２）</td><td rowspan="5">１３</td><td rowspan="12">３４</td></tr>
<tr><td>キャリア教育入門（２）</td></tr>
<tr><td>英語Ⅰ大学基礎（２）
英語Ⅰコミュニケーション（２）</td></tr>
<tr><td>データサイエンスⅠ（２）
データサイエンスⅡ（２）</td></tr>
<tr><td>スポーツ健康科学Ａ（１）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">教養基礎科目（副専攻科目）注1</td><td>歴史・文化分野</td><td rowspan="6">１３注2</td></tr>
<tr><td>環境・科学分野</td></tr>
<tr><td>健康・医療・福祉分野</td></tr>
<tr><td>教育・公共分野</td></tr>
<tr><td>社会・経済分野</td></tr>
<tr><td>国際・外国語分野</td></tr>
<tr><td>専攻基礎科目</td><td>専攻基礎科目として、コースが指定する教養基礎科目の授業を履修すること。その他の科目は教育学部向けに開講される専攻基礎科目（未習外国語を除く）または教養基礎科目（専攻基礎科目として取扱う）の中から任意に選択して履修すること</td><td>８</td></tr>
</table>

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。
専攻基礎科目として修得した教養基礎科目の単位は、副専攻の単位に含めることはできない。

注２　１３単位の中にスポーツ健康科学Ｂ（１）、スポーツ健康科学概論（２）、日本国憲法（２）、科学的地域環境概論Ⅰ（１）を含めること。

コースが指定する専攻基礎科目の授業

コース	指定する授業科目	単位数計
音楽教育コース	音楽文化論（２）または演劇入門（２）	２
学校教育コース（教育心理学専攻）	心理学Ａ（２）または心理学Ｆ（２）	２

（５）英語教育コース

<table>
<tr><th>科目</th><th>授業科目名（単位数）または 分野名</th><th>単位数小計</th><th>単位数合計</th></tr>
<tr><td rowspan="5">大学基礎科目</td><td>スタートアップセミナー（２）</td><td rowspan="5">１３</td><td rowspan="12">３４</td></tr>
<tr><td>キャリア教育入門（２）</td></tr>
<tr><td>英語Ⅰ大学基礎（２）
英語Ⅰコミュニケーション（２）</td></tr>
<tr><td>データサイエンスⅠ（２）
データサイエンスⅡ（２）</td></tr>
<tr><td>スポーツ健康科学Ａ（１）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">教養基礎科目（副専攻科目）注1</td><td>歴史・文化分野</td><td rowspan="6">１３注2</td></tr>
<tr><td>環境・科学分野</td></tr>
<tr><td>健康・医療・福祉分野</td></tr>
<tr><td>教育・公共分野</td></tr>
<tr><td>社会・経済分野</td></tr>
<tr><td>国際・外国語分野</td></tr>
<tr><td>専攻基礎科目</td><td>専攻基礎科目として、未習外国語（２）注3及び教養基礎科目から英語ＩＴＯＥＩＣ（２）を修得すること。その他の科目は教育学部向けに開講される専攻基礎科目または教養基礎科目（専攻基礎科目として取扱う）の中から任意に選択して履修すること。</td><td>８</td></tr>
</table>

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。
専攻基礎科目として修得した教養基礎科目の単位は、副専攻の単位に含めることはできない。

注２　１３単位の中にスポーツ健康科学Ｂ（１）、スポーツ健康科学概論（２）、日本国憲法（２）、科学的地域環境概論Ⅰ（１）を含めること。

注３　未習外国語の履修について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　３．（６）（ⅱ）未習外国語（英語以外の外国語）」を熟読すること。

３．医学部

（１）医学科

<table>
<tr><th>科目</th><th>授業科目名（単位数）または 分野名</th><th>単位数小計</th><th>単位数合計</th></tr>
<tr><td rowspan="5">大学基礎科目</td><td>スタートアップセミナー（２）</td><td rowspan="5">１３</td><td rowspan="11">３０</td></tr>
<tr><td>キャリア教育入門（２）</td></tr>
<tr><td>英語Ⅰ大学基礎（２）
英語Ⅰコミュニケーション（２）</td></tr>
<tr><td>データサイエンスⅠ（２）
データサイエンスⅡ（２）</td></tr>
<tr><td>スポーツ健康科学Ａ（１）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">教養基礎科目（副専攻科目）注1</td><td>歴史・文化分野</td><td rowspan="6">１３注2</td></tr>
<tr><td>環境・科学分野</td></tr>
<tr><td>健康・医療・福祉分野</td></tr>
<tr><td>教育・公共分野</td></tr>
<tr><td>社会・経済分野</td></tr>
<tr><td>国際・外国語分野</td></tr>
<tr><td>専攻基礎科目</td><td>分子生命体科学Ａ（２）
分子生命体科学Ｂ（２）</td><td>４</td></tr>
</table>

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。

注２　１３単位の中にスポーツ健康科学Ｂ（１）、医学医療入門（２）、国際保健と地域医療（２）、科学的地域環境概論Ⅰ（１）を含めること。
なお、物理選択者は入門生物学（２）を必ず単位修得すること。

（２）看護学科

<table>
<tr><th>科目</th><th>授業科目名（単位数）または 分野名</th><th>単位数小計</th><th>単位数合計</th></tr>
<tr><td rowspan="5">大学基礎科目</td><td>スタートアップセミナー（２）</td><td rowspan="5">１３</td><td rowspan="12">３０</td></tr>
<tr><td>キャリア教育入門（２）</td></tr>
<tr><td>英語Ⅰ大学基礎（２）
英語Ⅰコミュニケーション（２）</td></tr>
<tr><td>データサイエンスⅠ（２）
データサイエンスⅡ（２）</td></tr>
<tr><td>スポーツ健康科学Ａ（１）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">教養基礎科目（副専攻科目）注1</td><td>歴史・文化分野</td><td rowspan="6">１３注2</td></tr>
<tr><td>環境・科学分野</td></tr>
<tr><td>健康・医療・福祉分野</td></tr>
<tr><td>教育・公共分野</td></tr>
<tr><td>社会・経済分野</td></tr>
<tr><td>国際・外国語分野</td></tr>
<tr><td>専攻基礎科目</td><td>医学医療Ｃ２（２）［教養基礎科目から選択］
医学医療Ｄ（２）［教養基礎科目から選択］</td><td>４</td></tr>
</table>

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。
専攻基礎科目として修得した教養基礎科目の単位は、副専攻の単位に含めることはできない。

注２　１３単位の中にスポーツ健康科学Ｂ（１）、医学医療入門（２）を含めること。

４．工学部

（１）総合工学科機械工学コース

科目	授業科目名（単位数）または 分野名	単位数小計	単位数合計
大学基礎科目	スタートアップセミナー（２）	１３	３９
	キャリア教育入門（２）		
	英語Ⅰ大学基礎（２） 英語Ⅰコミュニケーション（２）		
	データサイエンスⅠ（２） データサイエンスⅡ（２）		
	スポーツ健康科学Ａ（１）		
教養基礎科目（副専攻科目）注1	歴史・文化分野	１３注2	
	環境・科学分野		
	健康・医療・福祉分野		
	教育・公共分野		
	社会・経済分野		
	国際・外国語分野		
専攻基礎科目	基礎線形代数学Ⅰ（２） 基礎線形代数学Ⅱ（２） 基礎微分積分学Ⅰ（２） 基礎微分積分学Ⅱ（２） 基礎物理学Ⅰ（２） 物理学実験（１） 基礎物理学Ⅱ（２）	１３	

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。

注２　１３単位の中にスポーツ健康科学Ｂ（１）、英語ＩＴＯＥＩＣ（２）、科学的地域環境概論Ⅰ（１）を含めること。

（２）総合工学科電気電子工学コース

科目	授業科目名（単位数）または 分野名	単位数小計	単位数合計
大学基礎科目	スタートアップセミナー（２）	１３	４３
	キャリア教育入門（２）		
	英語Ⅰ大学基礎（２） 英語Ⅰコミュニケーション（２）		
	データサイエンスⅠ（２） データサイエンスⅡ（２）		
	スポーツ健康科学Ａ（１）		
教養基礎科目（副専攻科目）注1	歴史・文化分野	１３注2	
	環境・科学分野		
	健康・医療・福祉分野		
	教育・公共分野		
	社会・経済分野		
	国際・外国語分野		
専攻基礎科目	基礎線形代数学Ⅰ（２） 基礎線形代数学Ⅱ（２） 基礎微分積分学Ⅰ（２） 基礎微分積分学Ⅱ（２） 基礎物理学Ⅰ（２） 基礎物理学Ⅱ（２） 基礎物理学ⅢＡ（２） 計算機基礎（２） 化学・物理実験（１）	１７	

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。

注２　１３単位の中にスポーツ健康科学Ｂ（１）、英語ＩＴＯＥＩＣ（２))、科学的地域環境概論Ⅰ（１）を含めること。

（３）総合工学科電子情報工学コース

科目	授業科目名（単位数）または 分野名	単位数小計	単位数合計
大学基礎科目	スタートアップセミナー（２）	１３	４３
	キャリア教育入門（２）		
	英語Ⅰ大学基礎（２） 英語Ⅰコミュニケーション（２）		
	データサイエンスⅠ（２） データサイエンスⅡ（２）		
	スポーツ健康科学Ａ（１）		
教養基礎科目（副専攻科目）注１	歴史・文化分野	１３注２	
	環境・科学分野		
	健康・医療・福祉分野		
	教育・公共分野		
	社会・経済分野		
	国際・外国語分野		
専攻基礎科目	基礎線形代数学Ⅰ（２） 基礎線形代数学Ⅱ（２） 基礎微分積分学Ⅰ（２） 基礎微分積分学Ⅱ（２） 基礎物理学Ⅰ（２） 基礎物理学Ⅱ（２） 基礎物理学ⅢＡ（２） 計算機基礎（２） 化学・物理実験（１）	１７	

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。

注２　１３単位の中にスポーツ健康科学Ｂ（１）、英語ＩＴＯＥＩＣ（２）、科学的地域環境概論Ⅰ（１）を含めること。

（４）総合工学科応用化学コース

科目	授業科目名（単位数）または 分野名	単位数小計	単位数合計
大学基礎科目	スタートアップセミナー（２）	１３	３７
	キャリア教育入門（２）		
	英語Ⅰ大学基礎（２） 英語Ⅰコミュニケーション（２）		
	データサイエンスⅠ（２） データサイエンスⅡ（２）		
	スポーツ健康科学Ａ（１）		
教養基礎科目（副専攻科目）注1	歴史・文化分野	１３注2	
	環境・科学分野		
	健康・医療・福祉分野		
	教育・公共分野		
	社会・経済分野		
	国際・外国語分野		
専攻基礎科目	基礎線形代数学Ⅰ（２） 基礎微分積分学Ⅰ（２） 基礎物理学Ⅰ（２） 基礎物理学Ⅱ（２） 基礎物理学ⅢＢ（２） 化学・物理実験（１）	１１	

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。

注２　１３単位の中にスポーツ健康科学Ｂ（１）、英語ＩＴＯＥＩＣ（２）、科学的地域環境概論Ⅰ（１）を含めること。

（５）総合工学科建築学コース

<table>
<tr><th>科目</th><th>授業科目名（単位数）または 分野名</th><th>単位数小計</th><th>単位数合計</th></tr>
<tr><td rowspan="5">大学基礎科目</td><td>スタートアップセミナー（２）</td><td rowspan="5">１３</td><td rowspan="12">４２</td></tr>
<tr><td>キャリア教育入門（２）</td></tr>
<tr><td>英語Ⅰ大学基礎（２）
英語Ⅰコミュニケーション（２）</td></tr>
<tr><td>データサイエンスⅠ（２）
データサイエンスⅡ（２）</td></tr>
<tr><td>スポーツ健康科学Ａ（１）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">教養基礎科目（副専攻科目）注1</td><td>歴史・文化分野</td><td rowspan="6">１３注2</td></tr>
<tr><td>環境・科学分野</td></tr>
<tr><td>健康・医療・福祉分野</td></tr>
<tr><td>教育・公共分野</td></tr>
<tr><td>社会・経済分野</td></tr>
<tr><td>国際・外国語分野</td></tr>
<tr><td>専攻基礎科目</td><td>基礎線形代数学Ⅰ（２）
基礎微分積分学Ⅰ（２）
基礎数理統計学（２）
基礎物理学Ⅰ（２）</td><td>１６注3</td></tr>
</table>

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。
専攻基礎科目として修得した教養基礎科目の単位は、副専攻の単位に含めることはできない。

注２　１３単位の中にスポーツ健康科学Ｂ（１）、英語ＩＴＯＥＩＣ（２）、科学的地域環境概論Ⅰ（１）を含めること。

注３　コースが指定する専攻基礎科目を履修すること。その他の科目は工学部向けに開講される専攻基礎科目または教養基礎科目（専攻基礎科目として取扱う）から８単位履修すること。

（６）総合工学科情報工学コース

科目	授業科目名（単位数）または 分野名	単位数小計	単位数合計
大学基礎科目	スタートアップセミナー（２）	１３	３９
	キャリア教育入門（２）		
	英語Ⅰ大学基礎（２） 英語Ⅰコミュニケーション（２）		
	データサイエンスⅠ（２） データサイエンスⅡ（２）		
	スポーツ健康科学Ａ（１）		
教養基礎科目（副専攻科目）注1	歴史・文化分野	１３注2	
	環境・科学分野		
	健康・医療・福祉分野		
	教育・公共分野		
	社会・経済分野		
	国際・外国語分野		
専攻基礎科目	基礎線形代数学Ⅰ（２） 基礎線形代数学Ⅱ（２） 基礎微分積分学Ⅰ（２） 基礎微分積分学Ⅱ（２） 基礎物理学Ⅰ（２） 基礎物理学Ⅱ（２） 物理学実験（１）	１３	

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。

注２　１３単位の中にスポーツ健康科学Ｂ（１）、英語ＩＴＯＥＩＣ（２）、科学的地域環境概論Ⅰ（１）を含めること。

５．生物資源学部

生物資源学科

科目	授業科目名（単位数）または 分野名	単位数小計	単位数合計
大学基礎科目	スタートアップセミナー（２）	１３	３８ または ３９
	キャリア教育入門（２）		
	英語Ⅰ大学基礎（２） 英語Ⅰコミュニケーション（２）		
	データサイエンスⅠ（２） データサイエンスⅡ（２）		
	スポーツ健康科学Ａ（１）		
教養基礎科目（副専攻科目）注1	歴史・文化分野	１３注2	
	環境・科学分野		
	健康・医療・福祉分野		
	教育・公共分野		
	社会・経済分野		
	国際・外国語分野		
専攻基礎科目	数学基礎（２） 物理学基礎Ⅰ（２） 化学基礎Ⅰ（２） 生物学基礎Ⅰ（２） 物理学基礎Ⅱ（２） 化学基礎Ⅱ（２） 生物学基礎Ⅱ（２） （４）注3 生物学実験（１）注4 化学実験（１）注5	１２ または １３	

注１　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を１０単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修及び申請は任意である。
副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第２部　Ⅰ　６．副専攻の履修・申請について」を熟読すること。

注２　１３単位の中にスポーツ健康科学Ｂ（1）、英語ＩＴＯＥＩＣ（2）、科学的地域環境概論Ⅰ（1）を含めること。

注３　３科目から２科目以上選択すること。ただし，３科目修得した場合は，１科目２単位を専門教育科目の自由科目として算入する。

注４　海洋生物資源学コースの学生（生物資源総合科学コースから配属された学生も含む）は修得すること。

注５　生命化学コースの学生（生物資源総合科学コースから配属された学生も含む）は修得すること。